

N I E 効果測定調査結果報告

(1997年7月)

日本新聞協会N I E委員会

はじめに

日本新聞協会NIE委員会委員長

山本治朗(中国新聞社代表取締役社長)

今回のNIE実践効果測定調査は、1996年度のNIE実践校(218校)を対象にした調査で、全国規模で実施をするのが初めてです。

突然のお願いにもかかわらず、多くの学校にご協力をいただきました。あらためてお礼を申し上げます。おかげさまで、精度の高いデータを得ることができたと確信しています。

NIE委員会第一専門部会(部会長・吉田伸弥読売新聞社編集委員)が今回の調査項目の設計、回収、集計、分析にあたりましたが、作業は同部会の調査チーム(座長・石川水穂産経新聞東京本社編集委員)が行いました。

調査分析にもあるように、NIEによって新聞への接触機会が増え、新聞への関心が急速に高まったことが、閲読時間、読み方にも顕著に表れています。

また、新聞記事を話題にすることが、小学生の場合、NIEの授業を受ける前は「ほとんどなかった」が、6割もあったのが、一転してNIE実践後には「しばしば話し合う」「ときどき話し合う」が7割を超えております。話し相手は「家族」が一番多く、3人に2人が家族と新聞記事を話題にしています。

この傾向は中学生、高校生にも共通しており、NIEによって家族による会話が増えており、ファミリー・フォーカス(家庭でのNIE)の基盤が出来ていることがうかがえます。

NIEによって身についた力では、小学生の「読み書き能力」の向上が目立っていますが、自分で主体的に取り組む「調べ学習」の力が小、中、高校生のいずれでも高くなっております。同時に「他人の意見を聞く」力が伸びていることも明らかになっており、NIEが「他人を思いやる気持ち」をはぐくむ効果のあることが分かりました。

さらに今回の調査では、NIEを受けた児童・生徒のうち、二人に一人は学習態度が確実に積極的になり、社会への興味・関心が高まり、思考が深まることが確認できました。このような結果が、新聞関係者にはもちろんのこと、教育現場でNIEを実践されている先生方にも自信を持っていただける契機となるものと期待しております。

詳しくは、次ページ以降に収録されております分析、データをお読みいただき、今後のNIE実践に生かしていただければ幸いです。

以 上

I. 調査概要

(1) 調査対象

1996年度NIE実践校218校

(2) 調査方法

郵送法

児童・生徒が各学級単位で個人記述

(3) 回答校・回答者数

194校

6176サンプル

(4) 回答校・回答者

小学校 66校、中学校 79校

高校 49校、

小学生男子 1030人

小学生女子 1040人

中学生男子 1239人

中学生女子 1214人

高校生男子 732人

高校生女子 921人

(学校名は巻末に掲載)

(5) 調査時期

1997年1月下旬～3月中旬

(6) 調査項目

①新聞の閲読頻度 (NIE前後)

②1日の新聞閲読時間 (NIE前後)

③新聞の「読み方」(NIE前後)

④興味ある記事 (NIE前後)

⑤NIE実施後についた力

⑥新聞記事について話し合う頻度

(NIE前後)

⑦新聞記事について話し合う相手

(NIE前後)

⑧NIE後の新聞好感度

⑨NIE授業のおもしろ度

⑩児童・生徒が受けたNIE実践教科

⑪児童・生徒の受けたNIE授業回数

⑫教師のNIE経験年数

⑬生徒のNIE経験年数

※⑩～⑬の問いは、回答校の実践教師に質問した。

(7) 調査分析者

NIE第一専門部会調査チーム

座長：石川 水穂

(産経新聞東京本社編集委員)

委員：西谷 修吉

(東奥日報社東京支社長)

佐藤 修

(秋田魁新報社読者センター長)

武藤 洋一

(上毛新聞社社会部部长)

小林 広

(山梨日日新聞社生活部長)

II. 調査結果

(1) NIE前後での新聞閲読頻度の変化 (図1、表5、表6)

新聞を「毎日読む」が男子で27.2%から42.2%、女子も21.1%から38.4%と大幅に増えた。特に、小学生女子の増加が著しく、17.1%から44.1%と27.0ポイントも増えている。

「毎日読む」と「ときどき読む」を合わせた割合も63.3%から87.0%に増えている。学校段階別で増加率を比較すると、小学生30.0ポイント、中学生22.6ポイント、高校生17.0ポイントと小学生の増加が顕著である。

逆に、新聞を「ほとんど読まない」は男子で24.6%から10.2%、女子も31.8%から10.6%と大幅に減った。中でも、小学生女子が33.7%から5.7%と5分の1に減っている。

「ほとんど読まない」と「まったく読まない」を合わせた割合も36.4%から12.9%と約3分の1に減っている。学校段階別の減少率は小学生29.9ポイント、中学生22.5ポイント、高校生16.9ポイントと小学校での減少が目立つ。

NIEによって、子供の目を新聞に向けてもらおうとする効果は着実にあがっている。特に、小学生女子に対して、大きな効果を発揮している。

図1. NIE前後での新聞閲読頻度の変化

単位 (%)

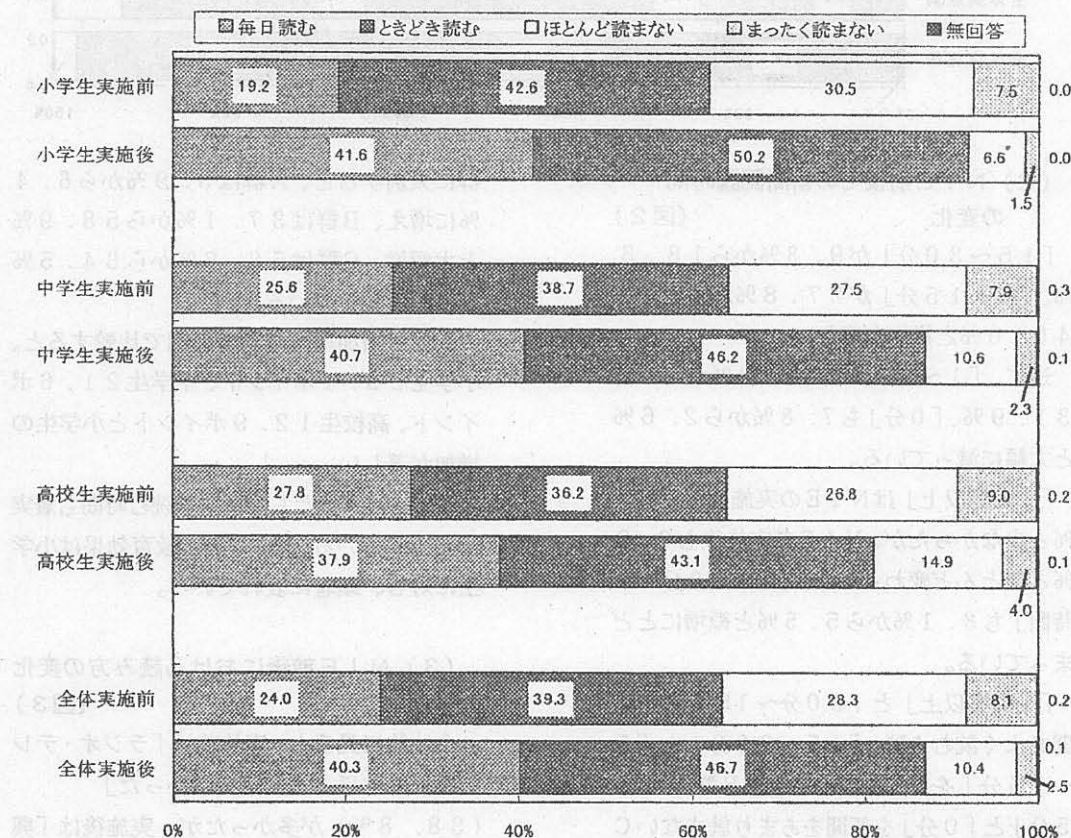
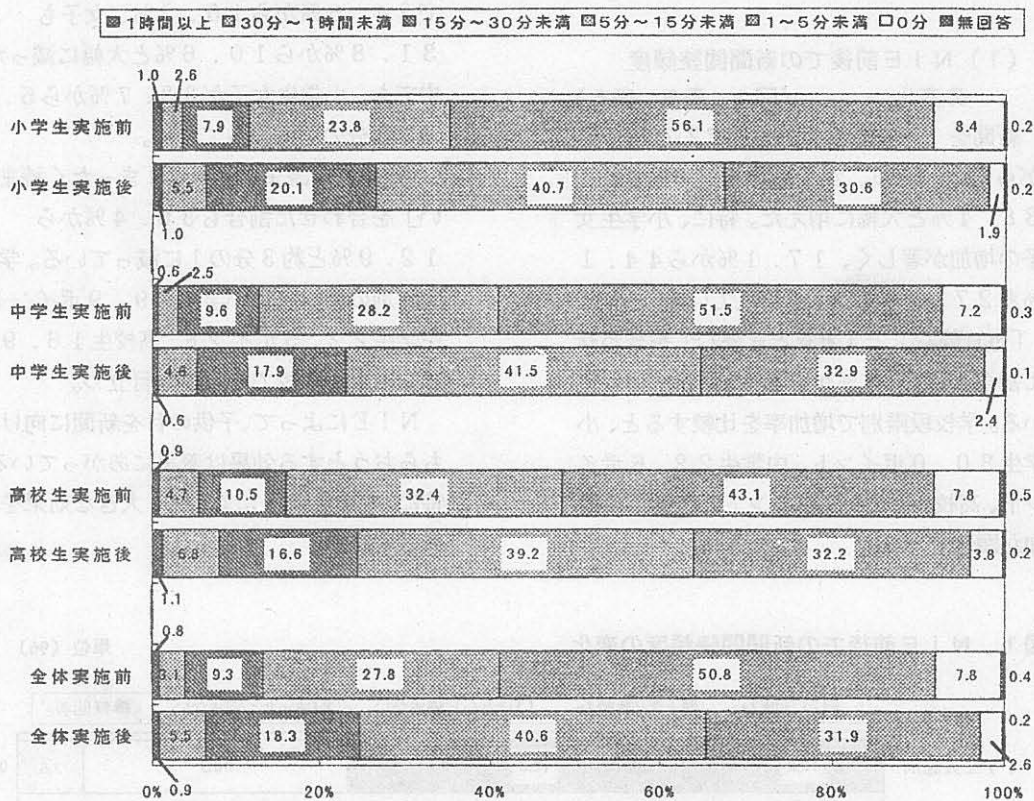


図2. NIE前後での新聞閲読時間の変化

単位 (%)



(2) NIE前後での新聞閲読時間
の変化 (図2)

「15～30分」が9.3%から18.3%、「5～15分」が27.8%から40.6%と増加が著しい。

逆に、「1～5分」は50.8%から31.9%、「0分」も7.8%から2.6%と大幅に減っている。

「1時間以上」はNIEの実施前も0.8%と少なかったが、NIEの実施後も0.9%とほとんど変わっていない。「30分～1時間」も3.1%から5.5%と微増にとどまっている。

「1時間以上」と「30分～1時間」を新聞をよく読むA群、「15～30分」と「5～15分」を新聞をかなり読むB群、「1～5分」と「0分」を新聞をあまり読まないC

群に大別すると、A群は3.9%から6.4%に増え、B群は37.1%から58.9%と大幅増、C群は58.6%から34.5%と大幅に減っている。

B群の増加率を学校段階別で比較すると、小学生29.1ポイント、中学生21.6ポイント、高校生12.9ポイントと小学生の増加が著しい。

NIEは子供たちの新聞を読む時間も着実に増やしている。特に、その教育効果は小学生に対し、顕著に表れている。

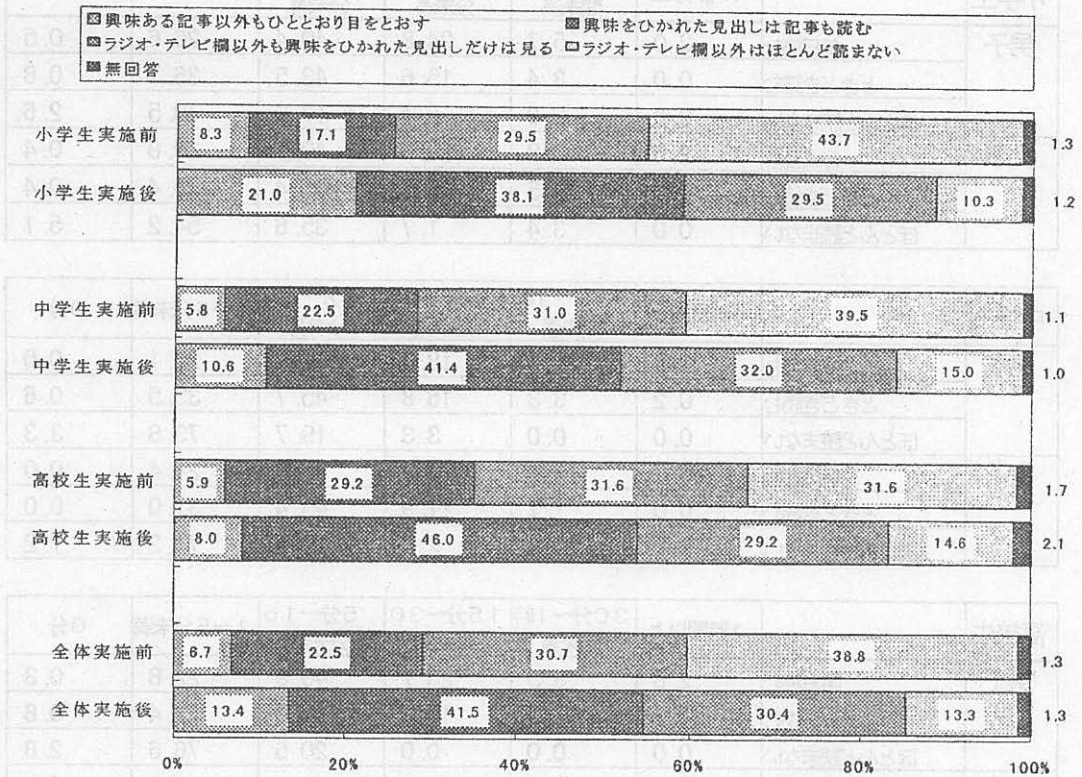
(3) NIE前後における読み方の変化 (図3)

全体的に見ると、実施前は「ラジオ・テレビ欄以外はほとんど読まなかった」

(38.8%)が多かったが、実施後は「興

図3. NIE前後における読み方の変化

単位 (%)



味をひかれた見出しは記事も読む」ようになった(41.5%)人が多くなった。「興味ある記事以外もひととおり目を通す」も2倍に増えており、NIEの効果が数字で裏付けられた。

この傾向は低学年ほど顕著で、小学生は以前「…ほとんど読まなかった」が43.7%で圧倒的に多かったが、現在「…ほとんど読まない」は10.3%しかなくなった。また「興味をひかれた見出しは記事も読む」は17.1%から38.1%と2倍以上に増え、新聞紙面を「見る」から「読む」ようになったといえる。

「ラジオ・テレビ欄以外も興味をひかれた見出しだけは見る」と答えたのは、小・中・高校とも、NIE実践の前と後でほとんど変化がなかった。ただし、設問項目からみて、

「ラ・テ以外はほとんど読まなかった」子が「ラ・テ以外も興味をひかれた見出しだけは見る」ようになり、「ラ・テ以外も興味をひかれた見出しだけは見る」子が「興味をひかれた見出しは記事も読む」ようになったと言える。

(4) 新聞閲読頻度と閲読時間の関連性 (表1)

新聞閲読頻度別に、それぞれの閲読時間を調べた。表1は、閲読頻度別に、閲読時間を100分率で表したものである。

新聞を「毎日読む」子(小:41.6%、中:40.7%、高:37.9%)が新聞に目を通す時間(1日あたり)は小・中・高校とも「5~15分」が4割以上を占め、最も多い。「15~30分」も中学生男子を除い

表1. 新聞閲読頻度と閲読時間との関連性

単位(%)

小学生		1時間以上	30分~1時間未満	15分~30分未満	5分~15分未満	1~5分未満	0分
男子	毎日読む	2.0	5.7	24.8	40.4	26.6	0.5
	ときどき読む	0.0	3.4	15.6	43.5	36.7	0.8
	ほとんど読まない	0.0	2.6	6.4	17.9	70.5	2.6
女子	毎日読む	2.0	9.8	27.9	40.1	19.8	0.4
	ときどき読む	0.6	4.5	19.8	45.4	29.4	0.4
	ほとんど読まない	0.0	3.4	1.7	35.6	54.2	5.1

中学生		1時間以上	30分~1時間未満	15分~30分未満	5分~15分未満	1~5分未満	0分
男子	毎日読む	1.9	10.4	18.7	44.9	24.1	0.0
	ときどき読む	0.2	3.3	16.8	45.7	33.5	0.6
	ほとんど読まない	0.0	0.0	3.3	19.7	73.8	3.3
女子	毎日読む	0.7	6.3	23.7	44.9	24.4	0.0
	ときどき読む	0.0	1.7	21.9	45.4	31.0	0.0
	ほとんど読まない	0.0	0.0	2.2	19.4	71.2	7.2

高校生		1時間以上	30分~1時間未満	15分~30分未満	5分~15分未満	1~5分未満	0分
男子	毎日読む	2.8	9.5	23.7	40.9	22.8	0.3
	ときどき読む	1.1	6.4	16.3	47.0	28.4	0.8
	ほとんど読まない	0.0	0.0	0.0	20.6	76.6	2.8
女子	毎日読む	1.3	12.6	22.6	42.2	21.3	0.0
	ときどき読む	0.7	5.8	18.6	46.8	28.0	0.2
	ほとんど読まない	0.0	0.7	1.4	23.0	70.5	4.3

て、それぞれ2割を超えている。

「ときどき読む」子(小:50.2%、中:46.2%、高:43.1%)も「5~15分」が小・中・高校で各40%台を占め、最も多い。「15~30分」は中学生女子だけ2割を超え、その他も2割近い数字になっている。

逆に、「ほとんど読まない」子(小:6.6%、中:10.6%、高:14.9%)は「1~5分」という回答が7割を超え(小学生女子だけは50%台)ている。

新聞を読む頻度の高い子供ほど、新聞を読む時間も長い——という極めて当然の結果が出ている。

(5) 新聞閲読頻度と読み方の関連性

(表2)

新聞閲読頻度別に、読み方の深さについて調べた。表2は、閲読頻度別に、読み方を100分率で表したものである。

新聞を「毎日読む」子(小:41.6%、中:40.7%、高:37.9%)は小・中・高校とも「興味をひかれた見出しは記事も読む」が最も多く、特に、高校では男女とも5割を超える。「興味ある記事以外も、ひととおり目を通す」熱心な読者も小学生で約3割、中学生で約18%いる。

「ときどき読む」子(小:50.2%、中:46.2%、高:43.1%)になると、「ラ

表2. 新聞閲読頻度と読み方との関連性

単位 (%)

小学生		興味ある記事以外もひととおり目をとらす	興味をひかれた見出しは記事も読む	ラジオ・テレビ欄以外も興味をひかれた見出しだけは見る	ラジオ・テレビ欄以外はほとんど読まない
男子	毎日読む	29.5	37.2	25.8	7.4
	ときどき読む	15.8	34.4	38.2	11.6
	ほとんど読まない	6.5	22.1	29.9	41.6
女子	毎日読む	30.4	43.3	20.8	5.5
	ときどき読む	17.2	43.6	32.0	7.3
	ほとんど読まない	0.0	33.3	31.6	35.1

中学生		興味ある記事以外もひととおり目をとらす	興味をひかれた見出しは記事も読む	ラジオ・テレビ欄以外も興味をひかれた見出しだけは見る	ラジオ・テレビ欄以外はほとんど読まない
男子	毎日読む	18.4	45.2	26.0	10.4
	ときどき読む	8.3	39.9	38.1	13.7
	ほとんど読まない	1.7	17.5	35.8	45.0
女子	毎日読む	17.2	43.6	27.9	11.3
	ときどき読む	5.6	50.5	37.2	6.8
	ほとんど読まない	0.0	21.9	30.7	47.4

高校生		興味ある記事以外もひととおり目をとらす	興味をひかれた見出しは記事も読む	ラジオ・テレビ欄以外も興味をひかれた見出しだけは見る	ラジオ・テレビ欄以外はほとんど読まない
男子	毎日読む	16.0	53.2	22.2	8.6
	ときどき読む	5.3	48.3	40.7	5.7
	ほとんど読まない	0.0	21.2	30.8	48.1
女子	毎日読む	11.6	56.8	22.3	9.3
	ときどき読む	5.6	53.5	32.9	8.1
	ほとんど読まない	2.2	16.9	37.5	43.4

ラジオ・テレビ欄以外も、興味をひかれた見出しだけは見る」と「興味をひかれた見出しは記事も読む」という回答が各30～50%台を占め、傾向は分かれる。高校生は後者の回答が比較的多い。

逆に、「ほとんど読まない」子では、「ラジオ・テレビ欄以外は、ほとんど読まない」という回答が最も多かった。

新聞を読む頻度の高い子供ほど、ラジオ・テレビ欄だけでなく、興味をひかれた見出しや記事にも目を通す傾向が強い——という予測された結果が確かめられた。

(6) 新聞閲読時間と読み方の関連性

(表3)

新聞閲読時間別に、読み方の深さについて調べた。表3は、閲読時間別に、読み方を100分率で表したものである。

全体の中で最も比率の高い、新聞を1日に「5～15分」読む子(40.6%)に限って分析すると、「興味をひかれた見出しは記事も読む」が小学生男子42.5%、同女子48.0%、中学生男子49.5%、同女子56.0%、高校生男子53.8%、同女子57.5%といずれも最多である。「ラジオ・

表3. 新聞閲読時間と読み方の関連性

単位 (%)

小学生		興味ある記事以外もひととおり目をとらす	興味をひかれた見出しは記事も読む	ラジオ・テレビ欄以外も興味をひかれた見出しだけは見る	ラジオ・テレビ欄以外はほとんど読まない
男子	1時間以上	50.0	37.5	0.0	12.5
	30分～1時間未満	51.2	34.9	11.6	2.3
	15分～30分未満	33.7	44.9	18.7	2.7
	5分～15分未満	21.5	42.5	31.9	4.2
	1～5分未満	8.7	20.9	43.3	27.1
女子	1時間以上	83.3	8.3	0.0	8.3
	30分～1時間未満	38.6	45.7	12.9	2.9
	15分～30分未満	33.0	54.8	10.4	1.7
	5分～15分未満	18.9	48.0	29.4	3.7
	1～5分未満	11.7	26.3	41.7	20.3

中学生		興味ある記事以外もひととおり目をとらす	興味をひかれた見出しは記事も読む	ラジオ・テレビ欄以外も興味をひかれた見出しだけは見る	ラジオ・テレビ欄以外はほとんど読まない
男子	1時間以上	45.5	36.4	9.1	9.1
	30分～1時間未満	31.1	55.4	12.2	1.4
	15分～30分未満	23.6	47.7	24.6	4.1
	5分～15分未満	9.4	49.5	33.9	7.2
	1～5分未満	5.9	21.3	39.1	33.7
女子	1時間以上	100.0	0.0	0.0	0.0
	30分～1時間未満	33.3	51.3	15.4	0.0
	15分～30分未満	22.7	56.6	19.4	1.2
	5分～15分未満	5.6	56.0	32.3	6.2
	1～5分未満	3.2	22.2	43.4	31.2

高校生		興味ある記事以外もひととおり目をとらす	興味をひかれた見出しは記事も読む	ラジオ・テレビ欄以外も興味をひかれた見出しだけは見る	ラジオ・テレビ欄以外はほとんど読まない
男子	1時間以上	58.3	25.0	8.3	8.3
	30分～1時間未満	16.7	72.9	8.3	2.1
	15分～30分未満	15.7	64.5	19.8	0.0
	5分～15分未満	9.0	53.8	29.0	8.2
	1～5分未満	3.0	23.0	44.3	29.8
女子	1時間以上	28.6	71.4	0.0	0.0
	30分～1時間未満	18.5	70.8	10.8	0.0
	15分～30分未満	13.1	68.6	15.7	2.6
	5分～15分未満	6.8	57.5	29.7	6.0
	1～5分未満	1.4	21.4	43.1	34.1

テレビ欄以外も、興味をひかれた見出しだけは見る」という回答も3割前後を占める。

「15～30分」読む子(18.3%)も、「興味をひかれた見出しは記事も読む」とい

う回答が各学校段階で男女とも圧倒的に多い。「興味ある記事以外もひととおり目を通す」熱心な読者も小学生男子で33.7%、同女子33.0%、中学生男子で23.6%、

同女子22.7%とかなりの比率を占めている。

全体の中では、2番目に比率の多い「1～5分」読む子(31.9%)の場合、「ラジオ・テレビ欄以外も、興味をひかれた見出しだけは見る」が小学生男子43.3%、同女子41.7%、中学生男子39.1%、同女子43.4%、高校生男子44.3%、同女子43.1%といずれも最も多い。

新聞を長く読む子供ほど、ラジオ・テレビ欄以外の興味をひかれた見出しや記事にも目を通して、という予測された傾向が改めて確かめられた。

(7) NIE前後の興味ある記事の変化

(表4)

「どんな記事に興味を持っていたか」「…現在持っているか」について、回答の選択肢として「政治」「スポーツ」「マンガ」など21項目を用意し、複数回答(最大9つまで)で順位をつけてもらった。このため、1位に挙げた項目を9点とし、以下9位まで1点ずつ減じた点数を乗ずるという得点制で比較した。NIE実施前は小学生男女、中学生男女、高校生男女とも「ラテ欄」が1位。2位は、小学生男女、中学生女子が「マンガ」、中・高校の男子が「スポーツ」、高校生女子が「芸能」となっていた。実施後では小学生男子が1位に「スポーツ」が入ったほかは、引き続き「ラテ欄」が1位だったが、得点をいずれも落とした。

「ラテ欄」「マンガ」以外は、実施後ほとんどの記事が得点を上げた。これは、NIE実施後では、「興味を持っている記事」の種類が増えたためである。小学生男子が、実施前は5.0だったのが実施後6.5に増えたように、小学生女子は、4.9から6.4へ、中学生男子は5.1から6.1へ、同女子は、4.7から6.0、高校生男子は5.2から5.9、同女子は、4.9から6.0にそれぞれ増えている。とくにアップが著しいのは

「事件事故」。高校生男子は以前から3位に入っていたが、高校生女子、中学生男女、小学生女子でも3位になった。「芸能」は女子の人気が高く、中学生女子は3位から2位に上昇、高校生女子は2位のままで、得点が上昇した。

また「ラテ欄」と並んで得点を下げた「マンガ」は、小学生男子では2位から3位に、中学生では男子が3位から4位、女子は2位から4位になった。

NIE実践後で、新たに100人以上が「興味ある記事」と選んだのは、小学生男子では200人以上の増となった「事件事故」をはじめ「地元」「スポーツ」「趣味旅行」「天気」「科学」「芸能」「外国」の8つ、また同女子は、「事件事故」「教育学校」「地元」「スポーツ」「芸能」「趣味旅行」「外国」の7つに上った。

また中学生では、男子が200人以上増の「事件事故」のほか「趣味旅行」「外国」「地元」の4つ、同女子は200人以上増の「事件事故」をはじめ「教育学校」「芸能」「趣味旅行」「外国」「地元」の6つだった。

高校生では、男子にはなく、女子が「事件事故」「教育学校」の2つだった。

1000点以上増えたのは、小学生、中学生男女の「事件事故」と、小学生女子、中学生女子の「教育学校」、それに小学生女子の「地元」が入っている。

男女差がはっきりと出ている記事種は、女子の場合、「芸能」のほか総得点としてはさほど高くないものの、「教育学校」「投書」「健康」「読書」「コラム」を好んでいる。一方、男子は、総得点の高い「スポーツ」のほか、得点自体はそれほどではないが、「政治」「経済」「科学」の“硬派”で女子を上回っている。「囲碁・将棋」も男子の方によく読まれている。

興味ある記事ベスト10 ～NIE実践後～

小学生男子 ()内は実施前順位

1位	スポーツ	5718点(3)
2位	ラテ欄	5670点(1)
3位	マンガ	5390点(2)
4位	事件事故	3755点(6)
5位	天気	2900点(5)
6位	広告	2748点(4)
7位	地元	1865点(9)
8位	趣味旅行	1729点(7)
9位	芸能	1605点(8)
10位	外国	1456点(10)

中学生男子 ()内は実施前順位

1位	ラテ欄	7499点(1)
2位	スポーツ	6392点(2)
3位	事件事故	4396点(5)
4位	マンガ	4177点(3)
5位	広告	3691点(4)
6位	天気	2567点(6)
7位	芸能	2403点(7)
8位	地元	2222点(8)
9位	趣味旅行	2030点(9)
10位	外国	1921点(10)

高校生男子 ()内は実施前順位

1位	ラテ欄	4285点(1)
2位	スポーツ	3793点(2)
3位	事件事故	2625点(3)
4位	芸能	1747点(7)
5位	広告	1737点(6)
6位	マンガ	1701点(4)
7位	天気	1688点(5)
8位	地元	1202点(8)
9位	外国	1116点(9)
10位	趣味旅行	1056点(10)

小学生女子 ()内は実施前順位

1位	ラテ欄	5941点(1)
2位	マンガ	4720点(2)
3位	事件事故	3925点(6)
4位	芸能	3311点(5)
5位	天気	2679点(4)
6位	広告	2565点(3)
7位	地元	2504点(8)
8位	学校教育	2191点(10)
9位	スポーツ	2179点(7)
10位	趣味旅行	1883点(9)

中学生女子 ()内は実施前順位

1位	ラテ欄	8326点(1)
2位	芸能	5018点(3)
3位	事件事故	4431点(5)
4位	マンガ	3644点(2)
5位	広告	3527点(4)
6位	スポーツ	3155点(6)
7位	天気	2242点(7)
8位	趣味旅行	2241点(8)
9位	学校教育	2137点(10)
10位	地元	2007点(9)

高校生女子 ()内は実施前順位

1位	ラテ欄	5896点(1)
2位	芸能	3407点(2)
3位	事件事故	3283点(4)
4位	広告	2606点(3)
5位	スポーツ	2525点(5)
6位	趣味旅行	1928点(8)
7位	天気	1828点(6)
8位	地元	1780点(9)
9位	マンガ	1608点(7)
10位	学校教育	1596点(10)

表4. NIE前後の興味ある記事の変化

男子

単位：点、()内は人

学年	政治	経済	外国	事件事故	スポーツ	地元	教育学校	健康	趣味旅行	科学	読書
小学実施前	441(75)	443(75)	955(163)	2373(368)	4853(636)	1081(200)	580(114)	392(83)	1116(191)	832(158)	293(63)
小学実施後	639(117)	593(116)	1456(264)	3755(585)	5718(758)	1865(338)	1039(212)	540(123)	1729(302)	1298(261)	414(93)
中学実施前	1179(190)	891(155)	1297(234)	3147(487)	5851(777)	1742(312)	646(136)	418(89)	1520(265)	1115(195)	402(85)
中学実施後	1320(235)	1177(214)	1921(339)	4396(691)	6392(867)	2222(416)	1003(203)	446(105)	2030(375)	1437(252)	557(119)
高校実施前	814(131)	699(119)	968(170)	2282(347)	3423(449)	985(171)	527(111)	257(67)	818(145)	545(94)	233(46)
高校実施後	942(153)	821(149)	1116(192)	2625(404)	3793(502)	1202(210)	637(129)	294(63)	1056(182)	729(122)	312(64)

学年	芸能	囲碁将棋	社説評論	コラム	投書	子字欄	マツガ	天気	広告	その他
小学実施前	1105(203)	598(106)	95(21)	244(52)	126(29)	5907(789)	5688(796)	2693(471)	2856(494)	164(26)
小学実施後	1605(305)	762(150)	149(41)	328(72)	249(63)	5670(847)	5390(819)	2900(574)	2748(554)	257(44)
中学実施前	1945(330)	502(90)	209(55)	336(71)	346(70)	7886(1034)	4565(699)	2553(485)	3382(579)	193(33)
中学実施後	2403(423)	490(99)	343(79)	485(104)	437(94)	7499(1042)	4177(685)	2567(537)	3691(674)	244(44)
高校実施前	1472(242)	255(47)	281(54)	393(69)	320(60)	4398(589)	1740(280)	1705(311)	1662(297)	70(13)
高校実施後	1747(292)	222(46)	408(78)	447(85)	357(74)	4285(605)	1701(293)	1688(340)	1737(332)	71(17)

女子

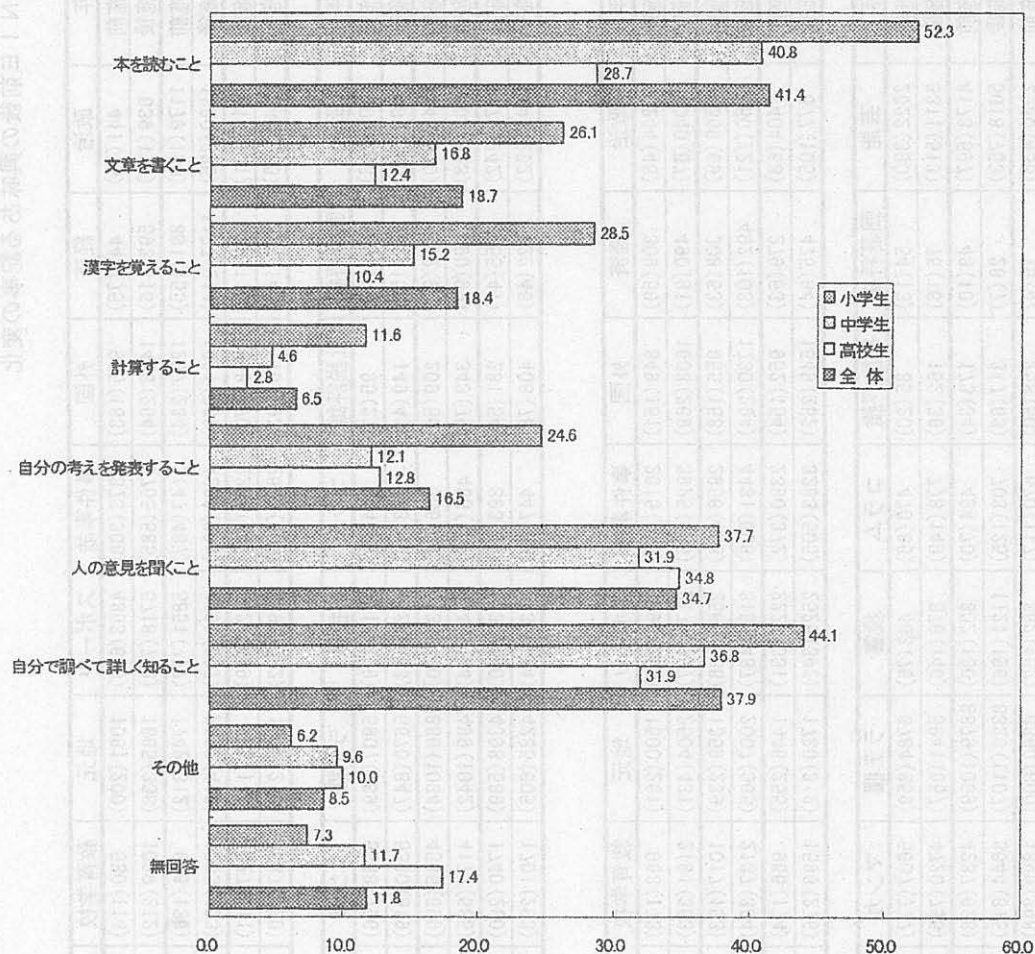
学年	政治	経済	外国	事件事故	スポーツ	地元	教育学校	健康	趣味旅行	科学	読書
小学実施前	244(46)	309(59)	849(151)	2615(406)	1593(233)	1500(281)	963(173)	568(116)	1083(193)	568(101)	702(132)
小学実施後	340(67)	490(91)	1603(289)	3925(596)	2179(357)	2504(431)	2191(363)	850(175)	1883(322)	958(175)	986(188)
中学実施前	369(69)	308(63)	955(158)	2956(456)	2560(388)	1339(239)	1017(193)	511(96)	1455(248)	499(87)	665(122)
中学実施後	650(121)	492(103)	1730(294)	4431(698)	3155(487)	2007(365)	2137(384)	681(145)	2241(388)	693(125)	937(190)
高校実施前	404(68)	279(53)	952(154)	2390(372)	2222(331)	1446(255)	966(174)	543(102)	1484(249)	222(39)	561(102)
高校実施後	577(105)	475(84)	1549(252)	3283(505)	2525(392)	1780(312)	1596(275)	765(151)	1928(326)	336(61)	733(136)

学年	芸能	囲碁将棋	社説評論	コラム	投書	子字欄	マツガ	天気	広告	その他
小学実施前	2622(390)	54(13)	85(20)	470(86)	468(76)	6784(859)	5807(777)	2832(486)	2946(494)	292(48)
小学実施後	3311(513)	76(16)	162(36)	778(149)	876(146)	5941(857)	4720(755)	2679(550)	2565(518)	573(96)
中学実施前	4173(597)	43(10)	173(34)	434(70)	802(130)	8879(1099)	4287(628)	2440(418)	3597(592)	115(18)
中学実施後	5018(753)	26(7)	317(63)	703(125)	1121(196)	8326(1107)	3644(615)	2242(450)	3527(655)	211(36)
高校実施前	2980(438)	19(4)	258(50)	670(117)	882(152)	6380(800)	1899(296)	1954(332)	2864(436)	80(13)
高校実施後	3407(529)	29(7)	456(89)	922(167)	1110(207)	5896(800)	1608(274)	1828(350)	2606(463)	94(17)

※興味ある記事を順位別に最大9つまで選択、1位は9点、2位は8点というように得点をつけ、積算した。()内は、選択した児童・生徒の人数。

図4. NIE実施後についた力

回答児童・生徒数=100 単位(%)



(8) NIE実施後についた力 (図4)

NIE実施後についた力を複数回答で尋ね、校種別に、項目ごとに選択した生徒数を100分率で表した。

全体では①本を読むこと②自分で調べて詳しく知ること③人の意見を聞くこと—の順となり、小学生と中学生は同傾向を示した。

「本を読む」と「自分で調べて詳しく知る」力は密接につながりを持ち、課題解決型の新しい学力を身につける子供が増えていることをうかがわせる。限られた内容の教科書以外

の図書で、いろいろなものの見方・考え方に触れて、自己学習力を高める子供たちの姿が浮かび上がってくる。

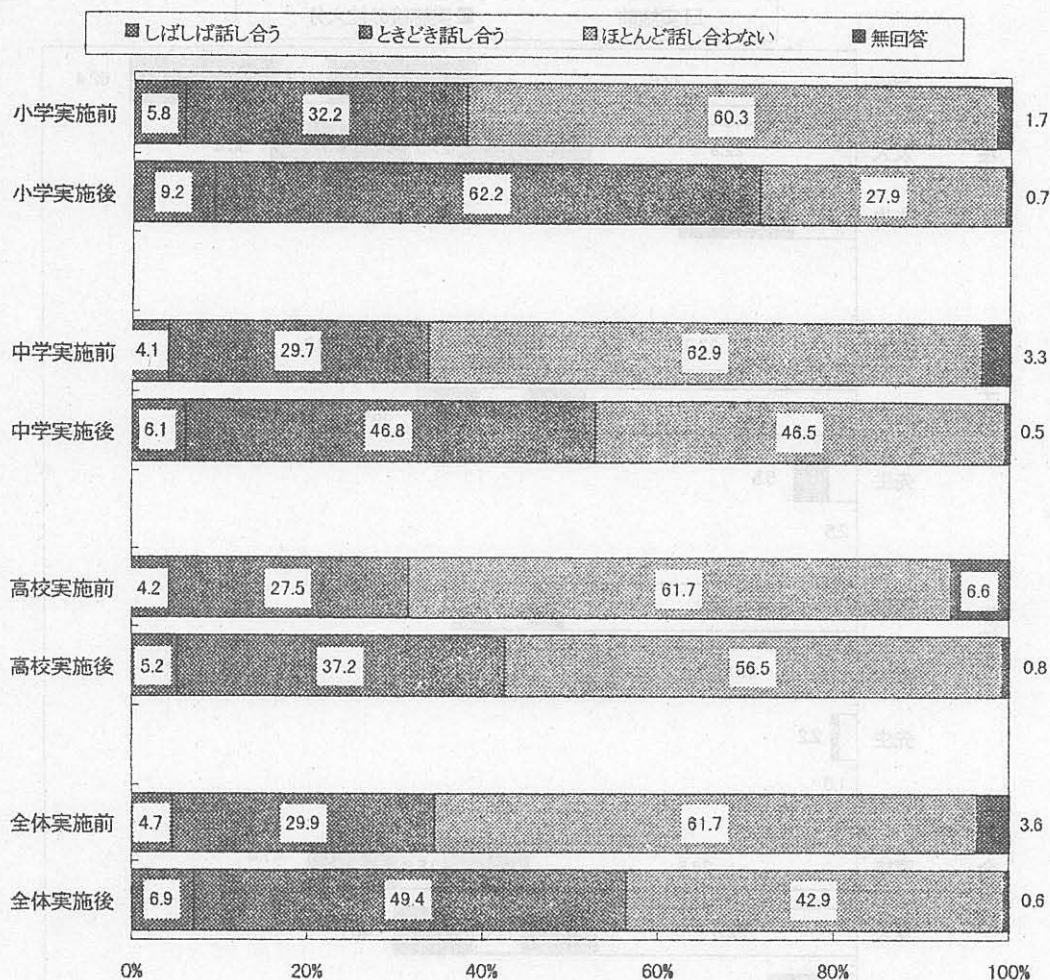
また新聞を読むことによって活字に親しむというNIEの大きな目的が浸透し、本を読むことへの抵抗感が薄れている面も指摘できる。

「人の意見を聞くこと」は、友だちの多様な考えを知ることにより子供たちが慣れ、共感を広げていることをうかがわせる。

高校生では「人の意見を聞く」がトップとなるが、大学受験の小論文対策として投書欄

図5. 新聞記事をめぐる会話の頻度

単位 (%)



などを読ませ、多様な意見があることを学ばせる指導が行われており、関連が指摘できそう。また、紙面を読み進めること自体が人の意見を知ることにつながり、新聞各紙による主張や記事の取り上げ方の違いまで含んでいる可能性もある。

(9) 新聞記事をめぐる会話の頻度

(図5)

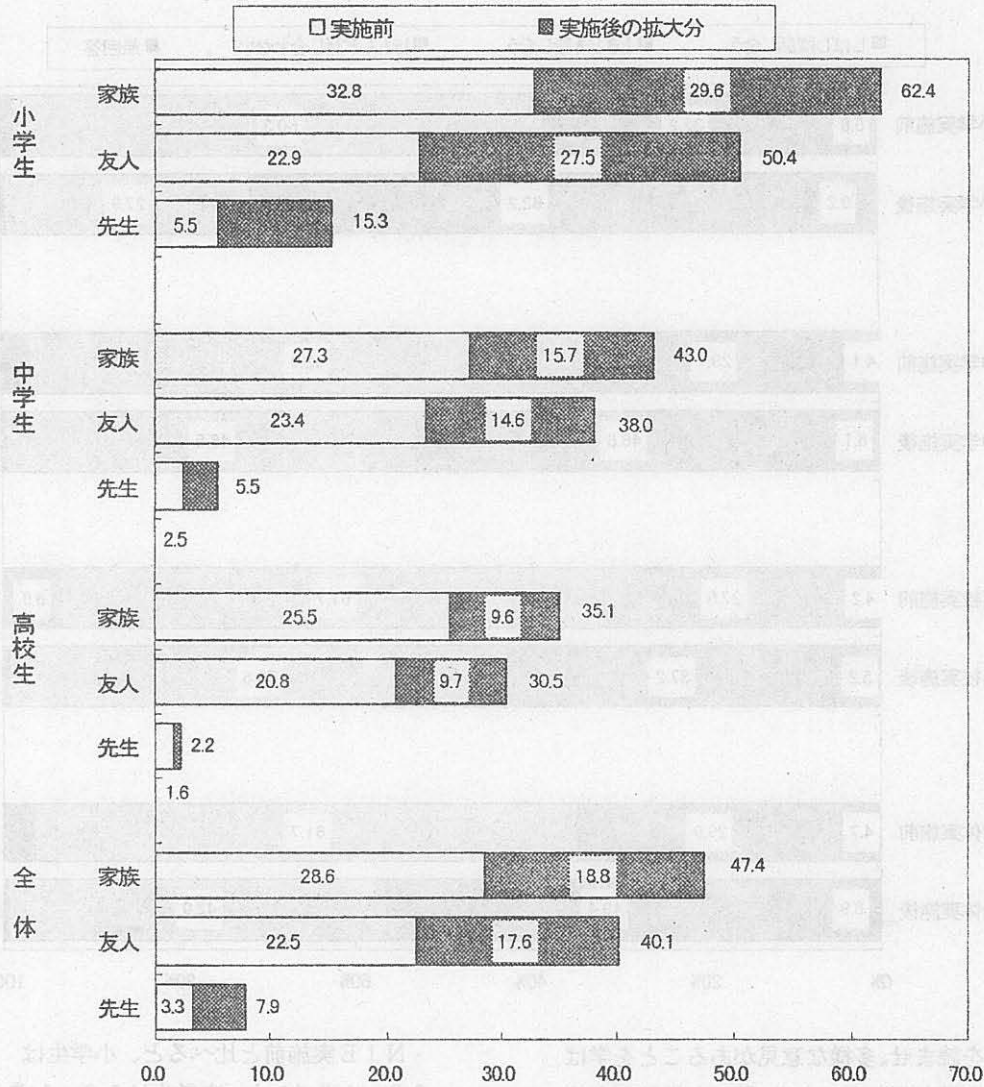
「しばしば話し合う」「ときどき話し合う」を合計すると、小学生は71.4%、中学生は52.9%、高校生は42.4%に上る。

NIE実施前と比べると、小学生は33.4ポイント、中学生は19.1ポイント、高校生は10.7ポイントそれぞれ上昇しており、特に小学生に効果が顕著である。

NIEを受けるまで新聞とかかわる機会が少なかったとみられる小学生を中心に、記事の内容を他の人との話題にする児童・生徒が増えている。新聞が身近になったことにより、子供たちの関心が身近なものから社会的なものへと広がる契機となり、大人から子供までに共通の話題を提供する新聞の良さがよく表れている。

図6. 新聞記事をめぐる話し相手

回答児童・生徒数=100 単位(%)



(10) 新聞記事をめぐる話し相手

(図6)

新聞記事をテーマにだれと話し合っているかを複数回答で尋ね、校種別に、話し相手ごとに回答生徒数を100分率で表したのが、図6である。

白の部分はNIE前の話し合っていた比率で、黒の部分は実施後の拡大を示している。図の一番右側にある数字は、実施後の話し合う比率を表したものの。会話の頻度が増えたこ

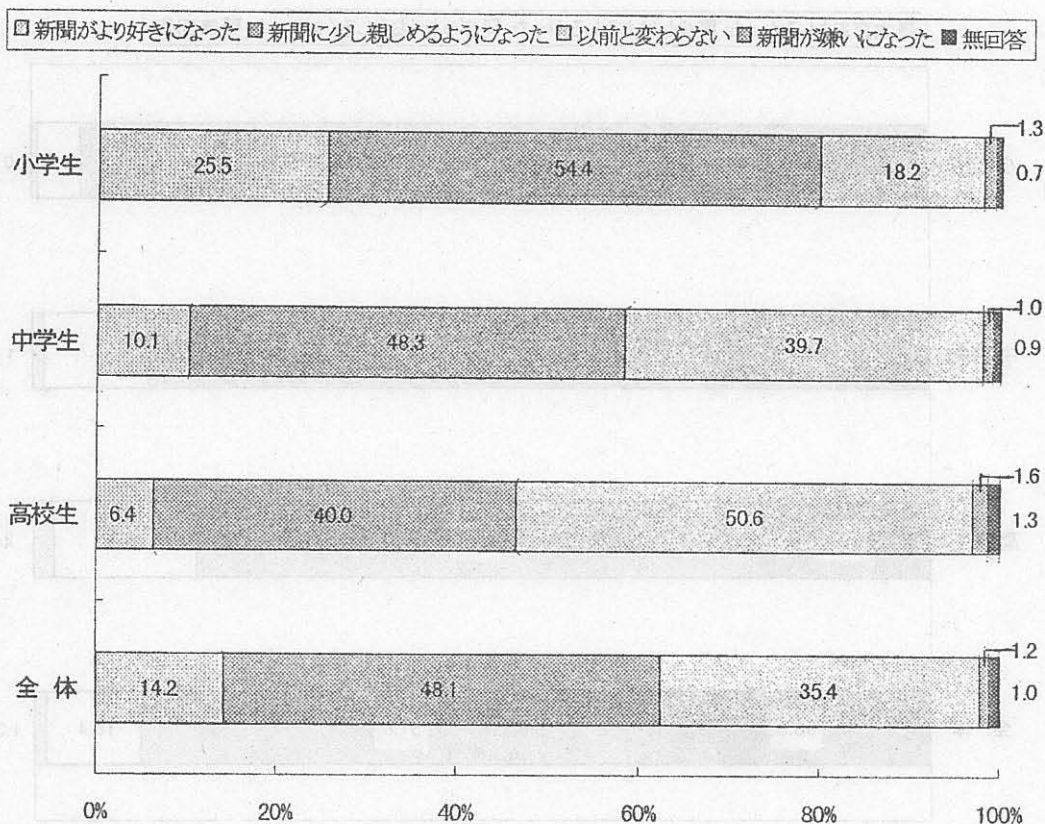
とを反映して、小・中・高校とも家族、友人、先生との会話が増えている。

NIE実施前と比較すると、小学生は「家族」が29.6ポイント、「友人」が27.5ポイント、「先生」が9.8ポイントと、それぞれ大幅に上昇し、中学生や高校生のアップ率を上回っている。

「その他」はわずかしかなく、図6に示し得なかったが、小学生は3.1%（実施前1.6%）、中学生1.1%（同0.8%）、

図7. 新聞好感度の変化

単位 (%)



高校生1.5% (同1.0%)、全体1.9% (同1.1%)となっている。

家庭での親子の話題はこれまで、学校生活を中心だったのではないかとと思われるが、大人と同じように新聞を読んで社会の動きを知った子供たちに、社会的な話題で話してみたいという意欲がわき、家族もそれにこたえている姿がうかがえる。

(11) 新聞好感度の変化

(図7、表16、表18)

「より好きになった」「少しは親しめるようになった」を合わせた割合は小・中・高校を通して小学生が最も高く、女子が84.9%、男子が74.8%となっている。「少しは親しめる」だけの割合でも小学生は男女とも50%台で、中学生男子、高校生男女より

高い。

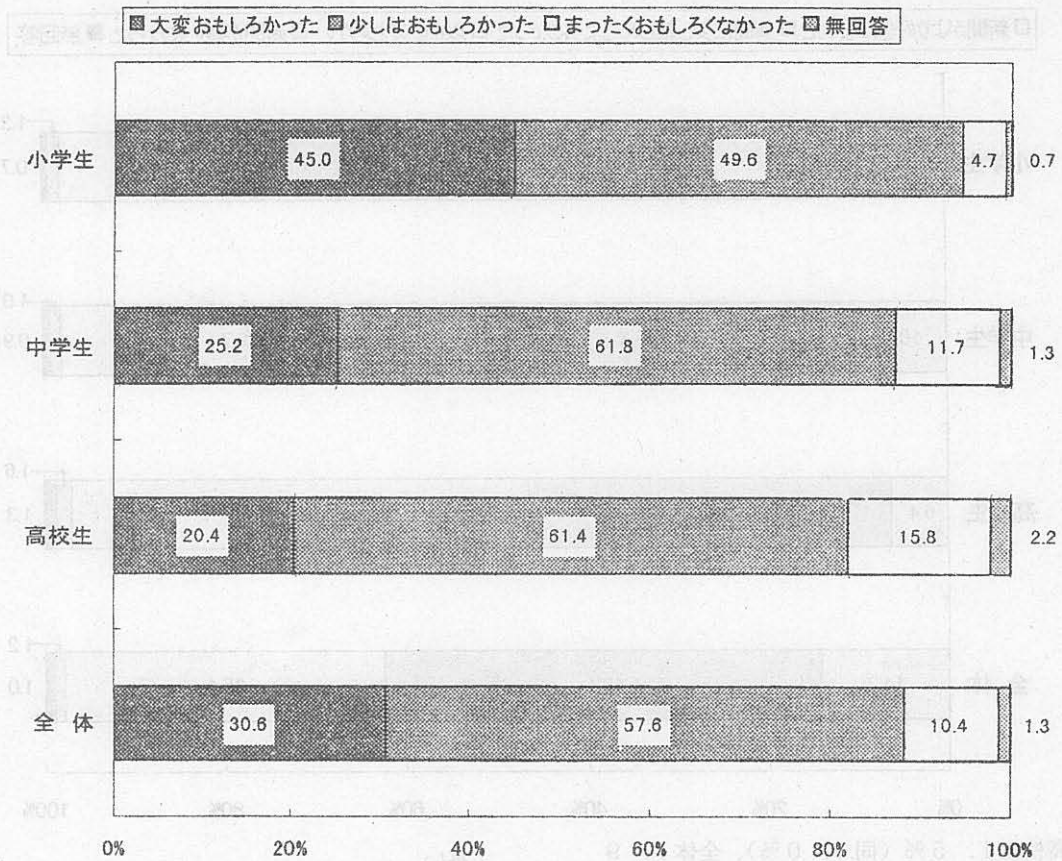
中学生の場合、割合が最も高いのは男子は「変わらない」で44.8%、女子は「少しは親しめるようになった」で55.4%。高校生は男女とも「変わらない」の割合が小・中学生より高く、それぞれ56.4%、46.0%となっている。

小学生の場合、それまで新聞を身近に感じていなかったのが、授業を通して新聞に関心を持つようになったことがうかがえる。「少しは親しめるようになった」理由として「自分のためになるから」「新聞について知ったから」「読む機会が増えたから」を挙げている回答が多かったことが、これを裏付けている。

高校生の場合、「変わらない」の割合が高

図8. N I Eのおもしろ度

単位 (%)



いが、高校女子に限って見ると、「より好きになった」「少し親しめるようになった」を合わせると52.0%と過半数を超えている。「嫌いになった」は小、中、高校生ともごくわずか。男子全体で1.9%、女子全体で0.6%に過ぎない。

(12) N I Eのおもしろ度

(図8、表17、表19)

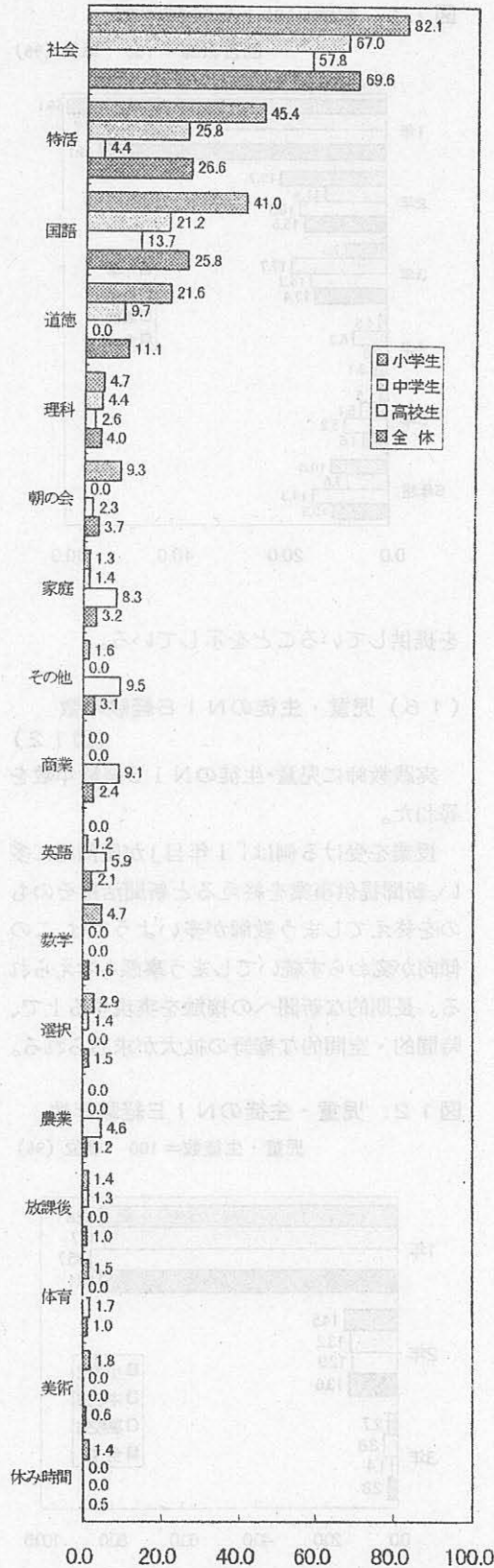
「大変おもしろかった」の割合が最も高いのは50.7%の小学生女子。「大変おもしろかった」「少しはおもしろかった」を合わせると小学校は男女とも90%台(男子92.8%、女子96.4%)。中学生は男女とも80%台(男子84.6%、女子

89.5%)。高校生は女子は80%台だが、男子は70%台となっている。

小学生の「大変おもしろい」「少しはおもしろい」の比率が小・中・高校を通じて最も高いのは、それまで新聞に慣れ親しんでいなかったが、授業を通して新聞にはさまざまな社会事象が載ることを知り、新鮮な驚きを感じたためだろう。そのことは、小学生男女とも「おもしろかった」理由として「日本や世界のことを知ることができた」「文章や言葉で意見を言える」を挙げる回答が多かったことからもうかがえる。

年齢が高くなるにつれて「おもしろい」の比率が低くなるが、最も低い高校生男子でも7割以上が「おもしろい」と回答している。

図9. NIEの教科・領域 単位(%)



このことは小・中・高校を通じ、新聞を使った授業によって新聞の理解度が高まり、その結果、新聞が身近に感じられるようになったことを示している。

(13) NIEの教科・領域

(図9)

NIEの授業を行っている教科を実践教師に3つまで選んでもらった。それぞれ児童・生徒を分母にして100分率にしたものが図9である。

小学校は1人の教師が複数の教科を持つため、特に活用の割合が全般的に中学・高校より高い。小学校の教師からは「教材としての活用はそれほど容易ではない」という声が聞かれる一方で、「環境保全」など特定のテーマを複数教科で追究する実践例もみられる。

小学校では社会科での活用が8割以上になっている。当初から社会科での活用を目的とした教師以外にも、教材として新聞がなじみやすく、新聞を扱う単元もある社会科で活用を試みる教師が多いことを反映している。特別活動での活用が多いのも小学校の特徴だ。

中学校も全体の傾向は似ていて、7割近い対象者が社会科の授業での実践を経験している。特活、国語が次ぐ点も同様だ。

高校も社会科の実践が半数以上で行われており、国語が次ぐ。ここでは英語や家庭科、農業、商業などでの実践が目立つ。理科の割合が低いのは教科が専門化・細分化し、教材化が難しいためではないか。

(14) NIEの授業回数

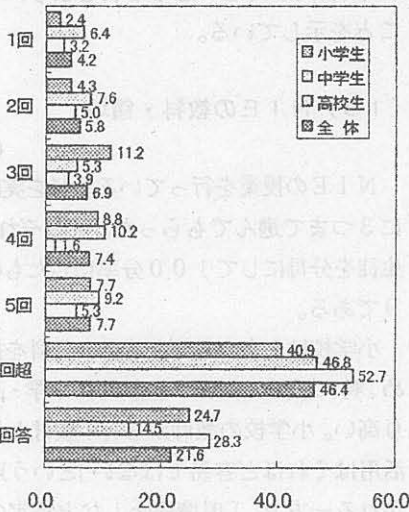
(図10)

児童・生徒がNIE授業を何回受けたかを実践教師に尋ねた。

約半数が5回以上「新聞を使った授業」を受けている。また全体では授業回数1回から5回へ、きれいに回数が多くなっている。多くの実践者は教材として新聞に親しませる機

図10. NIEの授業回数

児童・生徒数=100 単位(%)



会を作っているため、当然の結果といえる。

(15) 教師のNIE経験年数

(図11)

実践教師にNIE経験年数を尋ねた。

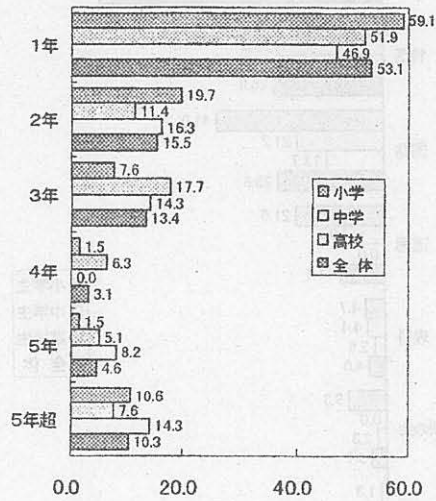
96年度から実践校枠が全国的に増えた関係で、半数以上が「1年目」と回答している。5年以上、新聞を使っている教師は校種で大きな差はないが、3~5年という回答は小学校が目立って少ない。「小学校は高学年を除き新聞活用が難しい」という認識が現在でもある。数年前からのNIE推進事業の全国展開に伴い、小学校での活用が大きく進展したことを間接的に示している。

一方、高校は学校数の少なさや受験勉強の影響か、全体に実践経験者が少ない。半面、5年以上のキャリアの教師は小学校、中学校とほぼ同じで、独自に新聞を活用してきた教師の割合が小、中に比べて高いことを示唆している。

全体的にみて、NIE推進事業の実践者は意外に新聞活用のキャリアの浅い教師が多い。つまり新聞協会の取り組みが多くの教師に対して、新聞を本格的に活用する初の機会

図11. 教師のNIE経験年数

回答教師=100 単位(%)



を提供していることを示している。

(16) 児童・生徒のNIE経験年数

(図12)

実践教師に児童・生徒のNIE経験年数を尋ねた。

授業を受ける側は「1年目」が圧倒的に多い。新聞提供事業を終えると新聞活用そのものを終えてしまう教師が多いようでは、この傾向が変わらず続いてしまう事態も考えられる。長期的な新聞への接触を実現する上で、時間的・空間的な裾野の拡大が求められる。

図12. 児童・生徒のNIE経験年数

児童・生徒数=100 単位(%)

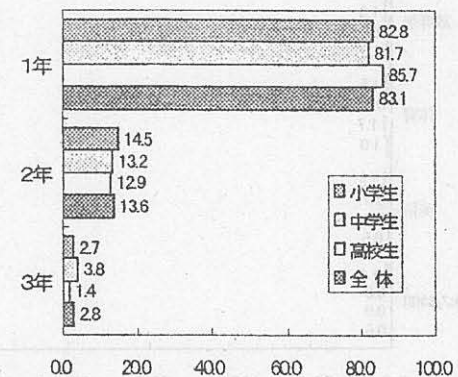


表5. あなたは現在、新聞をどの程度読みますか

		(%)							
		小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
	毎日読む	39.1	44.1	43.5	37.8	44.4	32.7	42.2	38.4
	ときどき読む	51.1	49.3	43.7	48.8	36.2	48.6	44.4	48.9
	ほとんど読まない	7.6	5.7	9.8	11.4	14.6	15.1	10.2	10.6
	まったく読まない	2.1	0.9	2.8	1.7	4.6	3.5	3.0	2.0
	無回答	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1

表6. NIE授業を受ける前は、どうでしたか

		(%)							
		小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
	毎日読んだ	21.4	17.1	28.1	23.0	33.7	23.0	27.2	21.1
	ときどき読んだ	41.8	43.4	40.2	37.1	33.1	38.8	39.0	39.7
	ほとんど読まなかった	27.3	33.7	23.4	31.7	22.8	30.0	24.6	31.8
	まったく読まなかった	9.4	5.7	8.2	7.7	10.2	8.0	9.1	7.1
	無回答	0.1	0.0	0.2	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2

表7. あなたは現在、新聞を1日にどのくらい読みますか

		(%)							
		小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
	1時間以上	0.8	1.2	1.0	0.2	1.6	0.8	1.1	0.7
	30分～1時間未満	4.2	6.7	6.0	3.2	6.6	7.1	5.5	5.5
	15分～30分未満	18.2	22.1	15.8	19.9	16.5	16.6	16.8	19.7
	5分～15分未満	39.4	42.0	41.4	41.5	38.3	40.0	40.0	41.2
	1～5分未満	35.0	26.3	32.8	33.1	32.7	31.8	33.5	30.5
	0分	2.3	1.5	3.0	1.8	4.1	3.6	3.0	2.2
	無回答	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2

表8. NIEの前は、どうでしたか

		(%)							
		小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
	1時間以上	1.0	1.1	1.0	0.2	1.4	0.5	1.1	0.6
	30分～1時間未満	3.1	2.0	3.1	2.0	5.5	4.0	3.7	2.6
	15分～30分未満	8.1	7.8	10.6	8.6	12.3	9.1	10.1	8.5
	5分～15分未満	22.0	25.5	28.9	27.5	31.8	32.9	27.3	28.4
	1～5分未満	56.0	56.2	49.3	53.8	39.8	45.8	49.3	52.3
	0分	9.7	7.1	6.8	7.7	8.5	7.3	8.2	7.4
	無回答	0.1	0.4	0.3	0.3	0.8	0.3	0.4	0.3

表 9. 新聞をどのように読みますか (%)

	小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
興味ある記事以外も、ひととおり目とおす	20.1	21.8	11.9	9.2	9.2	7.1	14.0	12.7
興味をひかれた見出しは、記事も読む	34.0	42.1	39.1	43.7	44.3	47.3	38.6	44.3
ラジオ・テレビ欄以外も、興味をひかれた見出しだけは見る	32.5	26.5	31.7	32.4	29.6	28.9	31.5	29.4
ラジオ・テレビ欄以外は、ほとんど読まない	12.5	8.1	16.3	13.7	14.5	14.8	14.6	12.2
無回答	0.9	1.4	1.0	1.0	2.5	2.0	1.3	1.4

表 10. NIEの前は、どうでしたか (%)

	小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
興味ある記事以外も、ひととおり目とおした	9.0	7.6	7.8	3.7	7.9	4.2	8.3	5.1
興味をひかれた見出しは、記事も読んだ	17.5	16.7	25.0	19.9	31.0	27.8	23.9	21.1
ラジオ・テレビ欄以外も、興味をひかれた見出しだけは見た	30.2	28.8	31.2	30.8	30.5	32.5	30.7	30.6
ラジオ・テレビ欄以外は、ほとんど読まなかった	41.8	45.5	34.7	44.3	28.7	33.9	35.7	41.7
無回答	1.5	1.3	1.2	1.2	1.9	1.6	1.5	1.3

表 11. あなたはNIEを受けて、どんなことが好きになりましたか (複数回答) (%)

	小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
本を読むこと	48.2	56.3	40.0	41.7	27.9	29.3	39.8	42.9
文章を書くこと	19.8	32.3	12.6	21.1	9.8	14.4	14.4	22.8
漢字を覚えること	29.5	27.4	17.0	13.4	12.6	8.7	20.2	16.6
計算すること	15.4	7.9	6.5	2.8	5.6	0.5	9.3	3.8
自分の考えを発表すること	23.8	25.4	13.8	10.5	13.0	12.6	17.0	16.0
人の意見を聞くこと	34.4	41.1	28.3	35.6	30.6	38.2	31.0	38.1
自分で調べて詳しく知ること	43.6	44.5	38.7	34.8	29.1	34.2	38.1	37.8
その他	5.1	7.2	11.7	7.4	12.2	8.3	9.6	7.6
無回答	8.4	6.3	11.4	12.1	19.8	15.5	12.4	11.2

表 12. あなたは現在、新聞記事について他の人と話し合うことがありますか (%)

	小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
しばしば話し合う	8.6	9.8	6.5	5.6	5.6	4.9	7.0	6.8
ときどき話し合う	56.4	68.0	42.1	51.6	33.1	40.5	44.8	53.7
ほとんど話し合わない	34.0	21.8	50.6	42.3	59.8	53.9	47.2	39.0
無回答	1.0	0.4	0.8	0.5	1.5	0.7	1.0	0.5

表13. 新聞記事について話し合う相手はだれですか (複数回答)

	(%)							
	小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
家族	54.9	69.8	36.5	49.6	29.8	39.4	41.2	53.3
友人	45.4	55.3	37.4	38.6	29.5	31.3	38.3	41.9
先生	13.4	17.2	6.9	4.2	3.1	1.5	8.2	7.7
その他	3.3	3.0	1.5	0.7	2.2	0.9	2.3	1.5

表14. NIEの前は、新聞記事について他の人と話し合うことができましたか (%)

	(%)							
	小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
しばしば話し合った	5.2	6.3	4.6	3.5	4.9	3.6	4.9	4.5
ときどき話し合った	31.9	32.4	28.3	31.1	24.0	30.2	28.5	31.2
ほとんど話し合わなかった	60.7	60.0	63.2	62.7	64.6	59.4	62.7	60.9
無回答	2.1	1.3	3.9	2.7	6.4	6.8	3.9	3.4

表15. その話し相手も答えてください (複数回答) (%)

	(%)							
	小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
家族	31.4	34.1	24.2	30.5	21.4	28.7	26.0	31.1
友人	23.1	22.8	24.5	22.2	21.6	20.1	23.3	21.8
先生	5.1	5.8	3.9	1.2	2.3	1.0	3.9	2.6
その他	2.0	1.3	1.2	0.3	1.8	0.3	1.6	0.6

表16. あなたはNIEを受けて、新聞がどれだけ好きになりましたか (%)

	(%)							
	小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
新聞がより好きになった	23.5	27.4	11.5	8.7	5.9	6.7	14.2	14.3
新聞に少し親しめるようになった	51.3	57.5	41.4	55.4	33.5	45.3	42.9	53.1
以前と変わらない	22.7	13.7	44.8	34.4	56.4	46.0	40.1	31.0
新聞が嫌いになった	1.7	0.8	1.3	0.7	3.1	0.4	1.9	0.6
無回答	0.8	0.7	1.0	0.8	1.1	1.5	1.0	1.0

表17. NIEは、おもしろかったですか (%)

	(%)							
	小学生 男子	小学生 女子	中学生 男子	中学生 女子	高校生 男子	高校生 女子	全体 男子	全体 女子
大変おもしろかった	39.2	50.7	23.6	26.9	18.0	22.4	27.6	33.4
少しはおもしろかった	53.6	45.7	61.0	62.6	57.7	64.4	57.6	57.6
まったくおもしろく なかった	6.4	3.0	13.9	9.4	22.5	10.5	13.4	7.6
無回答	0.8	0.7	1.5	1.1	1.8	2.6	1.3	1.4

表 18. N I E を受けて、新聞を好き (嫌い) になった理由

男子	答え	区分	回答数	理由							単位 (人)
				昔から好き だったから	読む機会が 増えたから	新聞について 知ったから	自分のため になるから	内容に興味 がないから	字が多い、 難しい	その他	
	好きになった	小学生	242	3	17	83	105	0	0	0	34
	少し親しめる	小学生	528	0	67	137	179	0	0	1	144
	変わらない	小学生	234	17	3	2	2	21	13	6	170
	嫌いになった	小学生	18	0	0	0	0	9	7	0	2
	好きになった	中学生	142	1	7	32	74	0	0	0	28
	少し親しめる	中学生	513	1	63	111	198	0	0	1	139
	変わらない	中学生	555	62	2	2	1	51	18	8	411
	嫌いになった	中学生	16	0	0	0	0	1	5	0	10
	好きになった	高校生	43	1	1	8	20	0	0	0	13
	少し親しめる	高校生	245	1	33	67	57	0	0	0	87
	変わらない	高校生	413	45	3	1	1	46	9	18	290
	嫌いになった	高校生	23	0	0	1	0	13	6	0	3

女子	答え	区分	合計	理由							無回答
				昔から好き だったから	読む機会が 増えたから	新聞について 知ったから	自分のため になるから	内容に興味 がないから	字が多い、 難しい	その他	
	好きになった	小学生	285	4	22	76	155	0	0	0	28
	少し親しめる	小学生	598	1	98	171	218	0	3	0	107
	変わらない	小学生	142	14	1	0	2	19	6	4	96
	嫌いになった	小学生	8	0	0	0	0	2	1	0	5
	好きになった	中学生	106	1	4	24	59	0	0	0	18
	少し親しめる	中学生	672	4	104	196	237	1	0	0	130
	変わらない	中学生	418	32	8	1	1	38	26	13	299
	嫌いになった	中学生	8	0	0	0	0	4	0	0	4
	好きになった	高校生	62	0	6	13	24	0	0	0	19
	少し親しめる	高校生	417	0	60	125	94	0	1	0	137
	変わらない	高校生	424	28	2	2	2	43	16	32	299
	嫌いになった	高校生	4	0	0	0	0	1	2	1	0

表 19. NIEがおもしろかった(つまらなかった)理由

答え	区分	回答数	日本と世界の事を知れた		新聞について良くわかった		いつもの授業と違うか		文壇や言葉で意見を言える		いろいろなお考えがあるのがわかった		新聞が好きじゃないか		作業などで疲れるから		読むことを強制されたから		その他	無回答
			日本と世界の事を知れた	新聞について良くわかった	いつもの授業と違うか	文壇や言葉で意見を言える	いろいろなお考えがあるのがわかった	新聞が好きじゃないか	作業などで疲れるから	読むことを強制されたから										
大変面白かった	小学生	404	144	9	13	145	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	72
少しは面白かった	小学生	552	125	8	18	95	19	3	1	3	1	6	1	3	1	1	1	1	6	276
全く面白くない	小学生	66	0	0	0	0	0	6	0	6	0	6	5	6	0	2	5	2	2	47
大変面白かった	中学生	292	105	5	25	62	7	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	6	81
少しは面白かった	中学生	756	197	10	38	90	18	2	2	5	18	2	5	1	5	1	1	1	14	381
全く面白くない	中学生	172	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	2	27	4	4	4	6	115
大変面白かった	高校生	132	29	2	9	23	19	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	10	40
少しは面白かった	高校生	422	71	8	39	30	29	3	3	4	29	3	3	4	4	3	3	3	8	227
全く面白くない	高校生	165	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	18	19	19	8	8	8	8	111

男子

単位(人)

答え	区分	合計	日本と世界の事を知れた		新聞について良くわかった		いつもの授業と違うか		文壇や言葉で意見を言える		いろいろなお考えがあるのがわかった		新聞が好きじゃないか		作業などで疲れるから		読むことを強制されたから		その他	無回答
			日本と世界の事を知れた	新聞について良くわかった	いつもの授業と違うか	文壇や言葉で意見を言える	いろいろなお考えがあるのがわかった	新聞が好きじゃないか	作業などで疲れるから	読むことを強制されたから										
大変面白かった	小学生	527	196	24	23	188	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	66
少しは面白かった	小学生	475	135	10	4	100	15	3	7	7	2	5	3	7	2	2	2	2	5	194
全く面白くない	小学生	31	0	0	0	0	1	11	4	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	15
大変面白かった	中学生	327	126	8	24	93	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	50
少しは面白かった	中学生	760	204	10	33	106	20	2	4	4	20	4	4	4	4	4	4	4	19	358
全く面白くない	中学生	114	1	0	0	0	0	18	12	12	0	2	2	12	2	2	2	2	1	80
大変面白かった	高校生	206	61	6	12	36	26	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	10	55
少しは面白かった	高校生	593	122	10	36	43	41	4	6	6	41	1	1	6	1	1	1	1	21	309
全く面白くない	高校生	97	1	0	0	0	0	15	12	12	0	8	8	12	8	8	8	8	5	56

女子

調査協力校

【北海道】

札幌市立新琴似小学校
旭川市立啓明小学校
札幌市立上野幌中学校
室蘭市立成徳中学校
鹿追町立鹿追中学校

【青森県】

青森市立合浦小学校
青森市立金沢小学校
弘前市立城西小学校
弘前市立致遠小学校
八戸市立根岸小学校
八戸市立白山台小学校
青森市立南中学校
青森市立古川中学校

【岩手県】

釜石市立唐丹小学校
盛岡市立城西中学校
一関市立本寺中学校
矢巾町立矢巾中学校
県立宮古水産高等学校
県立水沢商業高等学校

【宮城県】

仙台市立上杉山通小学校
仙台市立袋原小学校
仙台市立将監小学校
古川市立古川第一小学校
仙台市立生出中学校
仙台市立茂庭台中学校
蔵王町立宮中学校

【秋田県】

秋田市立明德小学校
秋田市立築山小学校

【山形県】

鶴岡市立鶴岡第一中学校
戸沢村立角川中学校

【福島県】

福島市立瀬上小学校
福島市立福島第一中学校
県立石川高等学校

【茨城県】

つくば市立並木小学校
美野里町立堅倉小学校
結城市立結城中学校
ひたちなか市立那珂湊中学校
水府村立水府中学校
県立取手第一高等学校

【栃木県】

黒羽町立須賀川小学校
河内町立古里中学校
県立宇都宮南高等学校

【群馬県】

太田市立沢野小学校
県立伊勢崎女子高等学校

【東京都】

聖心女子学院初等科
文京区立誠之小学校
江東区立第二亀戸小学校
東京学芸大学教育学部
附属大泉小学校

江戸川区立南篠崎小学校
小平市立小平第七小学校
世田谷区立桜木中学校
世田谷区立山崎中学校
恵泉女学園中学校
北区立紅葉中学校
板橋区立赤塚第二中学校
足立区立花畑北中学校
立川市立立川第七中学校
吉祥女子中学校
昭島市立瑞雲中学校
町田市立南中学校

東洋高等学校
成女高等学校
都立広尾高等学校
都立四谷商業高等学校
都立永福高等学校
都立豊島高等学校
都立石神井高等学校
都立足立東高等学校

都立昭和高等学校

都立小平高等学校

【神奈川県】

川崎市立西生田小学校
横須賀市立走水小学校
藤沢市立六会中学校

【千葉県】

勝浦市立勝浦小学校
茂原市立西陵中学校
県立茂原農業高等学校

【山梨県】

塩山市立塩山中学校
中富町立中富中学校
県立市川高等学校

【静岡県】

静岡市立井宮北小学校
御殿場市立原里中学校
県立森高等学校

【長野県】

上田市立東小学校
伊那市立伊那北小学校
長野市立北部中学校
佐久長聖中学校
阿南町立阿南第二中学校
県立長野東高等学校
佐久長聖高等学校
県立蘇南高等学校

【愛知県】

安城市立作野小学校
名古屋市立守山西中学校
豊橋市立青陵中学校

【岐阜県】

岐阜市立西郷小学校
宮川村立宮川中学校
県立岐阜商業高等学校

【新潟県】

長岡市立希望が丘小学校
板倉町立豊原小学校
新潟市立濁川中学校
栄町立栄中学校

大瀧町立大瀧町中学校
県立巻農業高等学校
県立西川竹園高等学校

【富山県】

富山市立桜谷小学校
婦中町立城山中学校

【石川県】

鶴来町立鶴来中学校
県立金沢北陵高等学校

【福井県】

福井市立明倫中学校
福井市立藤島中学校
県立藤島高等学校

【三重県】

桑名市立左良小学校
四日市市立山手中学校
県立津高等学校

【京都府】

京都市立百々小学校
京都市立修学院中学校
立命館宇治高等学校

【大阪府】

大阪市立真田山小学校
大阪市立堀川小学校
大阪市立恵美小学校
豊中市立北緑丘小学校
河内長野市立千代田小学校
大阪教育大学教育学部
附属平野中学校
大阪市立下福島中学校
大阪市立新東淀中学校
大阪市立淡路中学校
堺市立庭代台中学校
大阪市立生野工業高等学校
清風高等学校
大阪市立市岡商業高等学校
府立清友高等学校
府立守口養護学校
府立河南高等学校

【奈良県】
奈良市立伏見小学校

奈良市立京西中学校

【滋賀県】

大津市立皇子山中学校
県立日野高等学校

【和歌山県】

田辺市立田辺第二小学校
和歌山大学教育学部
附属中学校

【岡山県】

井原市立高屋小学校
岡山市立操南中学校
県立邑久高等学校

【広島県】

広島市立早稲田小学校
坂町立坂小学校
音戸町立波多見小学校
広島市立宇品中学校
広島市立安佐中学校
三原市立第三中学校
大野町立大野中学校
豊松村立豊松中学校
東城町立小奴可中学校

【鳥取県】

県立由良育英高等学校

【島根県】

松江市立津田小学校
県立松江南高等学校

【山口県】

宇部市立小羽山小学校
熊毛町立三丘小学校
東和町立東和中学校
むつみ村立むつみ中学校
県立新南陽高等学校

【徳島県】

鳴門市立鳴門市第一中学校
県立城ノ内高等学校

【香川県】

高松市立屋島小学校
多度津町立四箇小学校
坂出市立白峰中学校
県立観音寺第一高等学校

【愛媛県】

松山市立番町小学校
松山市立道後小学校
松山市立拓南中学校
松山市立東中学校
松山市立道後中学校
松山市立余土中学校
済美高等学校

【高知県】

土佐町立田井小学校
南国市立香南中学校
県立高知小津高等学校

【福岡県】

北九州市立萩ヶ丘小学校
飯塚市立幸袋小学校

【佐賀県】

佐賀市立赤松小学校
佐賀市立城南中学校
佐賀市立城西中学校

【熊本県】

熊本市立城山小学校
相良村立相良北中学校
県立菊池高等学校

【大分県】

国東町立城崎中学校
県立別府羽室台高等学校

【宮崎県】

宮崎市立小戸小学校
小林市立南小学校
小林市立西小林小学校
宮崎市立宮崎北中学校
県立宮崎西高等学校
県立五ヶ瀬高等学校

【鹿児島県】

串良町立串良小学校
野田町立野田中学校
県立武岡台高等学校
志學館中・高等部

以上